

議会

だより

い

な

が

わ

第174号

令和2年(2020年)2月1日

発行：兵庫県猪名川町議会



議案審議	第六次総合計画 ～令和2年4月から始動～	2
決算審査	自然災害の保険掛金	4
委員会の活動報告	学校設置等に関する条例の一部改正可決ほか	6
一般質問	6人が町の考えを問う	8

がんばるぞ!!
(彫刻の道マラソン大会)

第六次総合計画

～令和2年4月から始動～

第397回 12月定例会

第397回定例会が12月6日から17日まで12日間開会し、人事案件1件、補正予算2件、条例制定2件、条例改正7件、条例廃止2件、規約改正1件、基本構想の策定1件、指定管理者の指定3件、動産購入1件、変更契約3件、議員発議1件を審議した。

議案第74号(学校設置等に関する条例の一部改正)は賛成多数で可決。議員提案による発議第1号(道の駅移転に関する住民投票条例の制定)は賛成少数で否決された。

その他の議案は、すべて原案どおり同意・可決した。また、平成30年度一般会計決算、5特別会計決算を認定した。

一般質問は6人の議員が行った。

策定

第六次総合計画基本構想及び基本計画の策定

今後10年間の住民と行政がともに目指すべきまちの将来像を明確にし、町政運営を総合的かつ計画的に行うための指針として定めるもの。

その実現のため、組織内の更なる連携と組織力を強化し、行政課題や住民ニーズに適切かつ効率的に対応することができ組織へ改編する。

人事案件

公平委員会委員

任期満了に伴い中林長治氏の選任に同意。

補正予算

一般会計補正予算

歳入歳出予算総額にそれぞれ4836万7千円を追加し、総額を105億7932万4千円とする。

後期高齢者医療保険特別会計補正予算

歳入歳出予算総額にそれぞれ20万円を追加し、総額を7億5425万6千円とする。

ものの給与及び旅費に関する条例の一部改正

○町環境交流館の指定管理者の指定

○町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

規約改正

兵庫県市町村職員退職手当組合規約の一部改正

○会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正

動産購入

移動通信用無線設備機器 銀山地区西部の携帯電話電波を中継。契約金額 797万8300円。

○非常勤の職員の公務災害補償に関する条例の一部改正

○町介護保険条例の一部改正

変更契約

○町道阿古谷民田線災害復旧工事(その2)

○町立小・中学校及び幼稚園の空調工事A工区

○町立小・中学校及び幼稚園の空調工事B工区

○学校設置等に関する条例の一部改正

条例廃止

○町農業共済条例の廃止

○町農業共済特別会計条例の廃止

議員発議

○道の駅いながわ移転整備事業に関する住民投票条例の制定

住民意思を明らかにするため提案されたが、7対8の賛成少数で否決。

条例制定

○組織改編に伴う関係条例の整理に関する条例

○町犯罪被害者等支援条例

条例改正

○職員の給与に関する条例の一部改正

○特別職の職員で常勤の

指定管理者の指定

○駅前第1・第2自転車駐車場及び日生中央駅前交通広場駐車場の指定管理者の指定

○町火葬場の指定管理者の指定

意見書を提出

指定難病医療費助成制度の改善を求める意見書

〈提出者〉 加藤郁子
池上哲男、井戸真樹、岡本信司、上林辰巳、古東明子、中島孝雄、南 初男

要旨

重症度基準による選別をやめ、「軽症」者を含めた全ての指定難病患者を助成の対象にすること。

骨髄移植等によりワクチンの再接種が必要となった者への接種費用を助成する制度の創設を求める意見書

〈提出者〉 南 初男
福井澄榮、加藤郁子、上林辰巳、中島孝雄、宮東豊一

要旨

1 骨髄移植等により予防接種ワクチンの効果がなくなった者が再接種する費用を助成する制度を創設すること。

2 再接種によって副反応等の健康被害が発生した際に、定期接種と同等の補償を受けることが出来るよう制度を整えること。

「意見書」を国へ提出

討論

議案第74号 学校設置等に関する条例の一部改正について

町内の中学生総数は30年で1070人から1040人に30人ほどしか減っておらず、廃校は合理的ではない。

中学3校の生徒数の偏在は正こそ肝要で、まだ六瀬中学校の生徒数を増やす方法はあるはず。

また、地域の過疎化を加速させかねない廃校についての議論は尽くされておらず、住民が納得していない段階では時期尚早。廃校は万策尽きてから。

賛成

平成28年の一方検討委員会」の設置から、保護者と住民、行政、有識者らが、幾度となく意見交換やアンケートを取りながら再編を検討してきた。

予測困難な未来社会を生き抜く力をつけるためには、一定以上の集団規模

模が必要。

多数の保護者が生徒数の減少に不安を感じており、子どもたちの未来を考えると再編を前向きにとらえている。

発議第1号 道の駅いながわ移転整備事業に関する住民投票条例の制定について

住民投票によって、住民の意思を町政に反映することができる。

賛成

成立要件については、賛否いずれかが投票資格者総数の4分の1以上とした原案の方が、投票率50%以上という提案よりハードルが高く、またポイコット運動を防げる。

住民の意思を反映させるのが議員の仕事の一つだが、住民の声を聞かないのは仕事の放棄ともいえる。重要案件は住民の意思を問うべき。

賛否いずれかの得票数が投票資格者総数の4分の1

賛成

住民への十分な説明責任も果たさずに進めようとする行政の在り方に、多くの住民が疑問を感じている。

賛成

住民投票は、あくまで民意と行政の乖離が生じた時、その乖離を補完する役割であり、住民投票を否定することは、住民自治を否定することにつながる。

議案等の審議結果 ※全員が賛成の議案は、表示していません。

件名	議案名	議員名																
		南 初男	阪本ひろ子	福井 澄榮	岡本 信司	中島 孝雄	山田 京子	上林 辰巳	中西 典章	宮東 豊一	加藤 郁子	福井 和夫	古東 明子	池上 哲男	丸山 純	井戸 真樹	下坊 辰雄	
議案第74号	学校設置等に関する条例の一部改正について	○	○	●	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第1号	道の駅いながわ移転整備事業に関する住民投票条例の制定について	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

○…賛成 ●…反対

※議案第74号については、地方自治法第244条の2第2項に定める出席議員の3分の2以上の同意を必要とする特別多数議決となるため、下坊辰雄議長も出席議員として採決に加わる必要がある。発議第1号については、議決に加わらないため「-」で表示。

7月豪雨、台風20・21・24号 9月の秋雨前線の保険掛金 129万1810円

平成30年度各会計（水道事業会計・下水道事業会計を除く）決算は、各常任委員会にて延べ4日間にわたり審査・認定した。

総務文教 常任委員会

総務

◎ 災害対策費用保険金の掛金は幾らだったのか。また、保険の対象となった災害の内容は。

129万1810円で、対象となった災害は、7月豪雨、台風20号、21号、24号、9月の秋雨前線の計5回である。内容



災害現場の復旧作業（伏見台地区）

は、主に管理職特別手当や、時間外勤務手当が対象となった。

◎ 避難所について、段ボールパーティションなどの備蓄状況と今後の課題は。

◎ 避難所の仕切りは現時点で準備していないが、今後どういったものを備えるべきか考える。

◎ 循環バス路線再編調査に約550万円かけてどのような調査を行ったのか。

◎ 今後より一層使い勝手が良いよう見直すため、コンサル業者への委託料2年間で900万円となる。業者選定は入札を実施し、金額も含め

最善であると判断している。◎ 職員研修の主な内容は、基本研修は中堅職員研修、民法、行政法といった若手中心の研修で、15コース、80人が参加。特別研修は問題解決やプレゼンテーション研修、メンタルヘルス研修、接客研修で18コース、407人が参加した。派遣は法令実務、契約、財務、税務、会計などの専門的な研修で、41コース、44人が参加した。今後も新しい行政課題、行政需要に対応できるように若手中心に行っていきたい。

暮らし

◎ つつじが丘の太陽光発電施設の土地賃料が安いと考えるが、契約金額の根拠は。

平成24年に契約した当時は、町有地の有効活用の観点で年間120万円程度の貸付料を最低条件で公募し、300万円に契約に至った。平成29年にパネルの増設があり、



太陽光発電施設（つつじが丘地区）

20万5000円の増額となった。

教育

◎ 幼稚園を改修した内容は。今後計画的に施設整備を行う予定は。

松尾台幼稚園の廊下の屋根の雨漏り修繕工事83万1600円、六瀬幼稚園の便器の取替え、インターロッキングの修繕などを実施した。幼稚園からの状況報告や訪問して、不具合があれば修繕工事を行う。



和式を洋式に

◎ 修学旅行の援助をしたとのことだが、支給人

数。◎ 修学旅行費は実費を援助。小学校6年生は33人、中学校3年生は38人に支給した。経済的理由で修学旅行に参加できなかった児童生徒はいない。

生活建設 常任委員会

◎ 歳入全体について、人口減による町税と繰入金金の減少で、特に自主財源の割合が落ちてきているが、税収について今後どういった対策をとっていくのか。

◎ 個人住民税は今後も横ばいか微減で推移すると見込んでいる。令和4年度から産業拠点地区をはじめ、固定資産税の増収を見込んでおり、トータルで税収を十分確保できると見込んでいる。自主財源の比率は概ね50%前後で推移してきたが、特に財政運営上、影響があるという認識はしていない。

◎ 自主財源が増えるのと地方交付税が減るが、仮



阪神北広域子ども急病センター

◎ 阪神北広域子ども急病センターを何人の住民が利用したか。◎ 706人が利用した。

福祉

消防

◎ 救急車の更新基準はあるのか。◎ 走行距離と年数で更新していく。

建設

◎ 道路維持補修費および橋梁維持補修費について、工事請負費の執行額

また、総合福祉センターの利用者のカウンターの仕方。

◎ 常務理事を含む4名の人員費および町からの派遣職員1名の手当。カウンターの仕方は、延べ利用人数の合計数となっている。

よりも繰越が多いのはなぜか。

7月豪雨、その後たび重なる台風、9月豪雨とそのたびに国に査定の手続きをするため、災害復旧に係る事務が非常に多く、その業務を最優先した結果、道路維持費などで当初予定していたものができなかった。橋梁についても同じような理由で、さらに橋梁の一部工事を繰り越した。

都市政策

◎ 企業立地対策費について、平成29年度からの通次繰越があるが、道路は舗装がされていると思うが、進捗状況は。

平成29年度は開発区域入り口から下水道の延長159・97mの工事を行い、30年度に整備を終えた。今年度につつじが丘交差点のところまで、下水道の延長工事を完了



下水道工事

し、今後は清算の事務に入っている。30年度は29年度からの通次繰越も含めて現年予算となり、その残った分について30年度に繰り越している。

ひとくちメモ

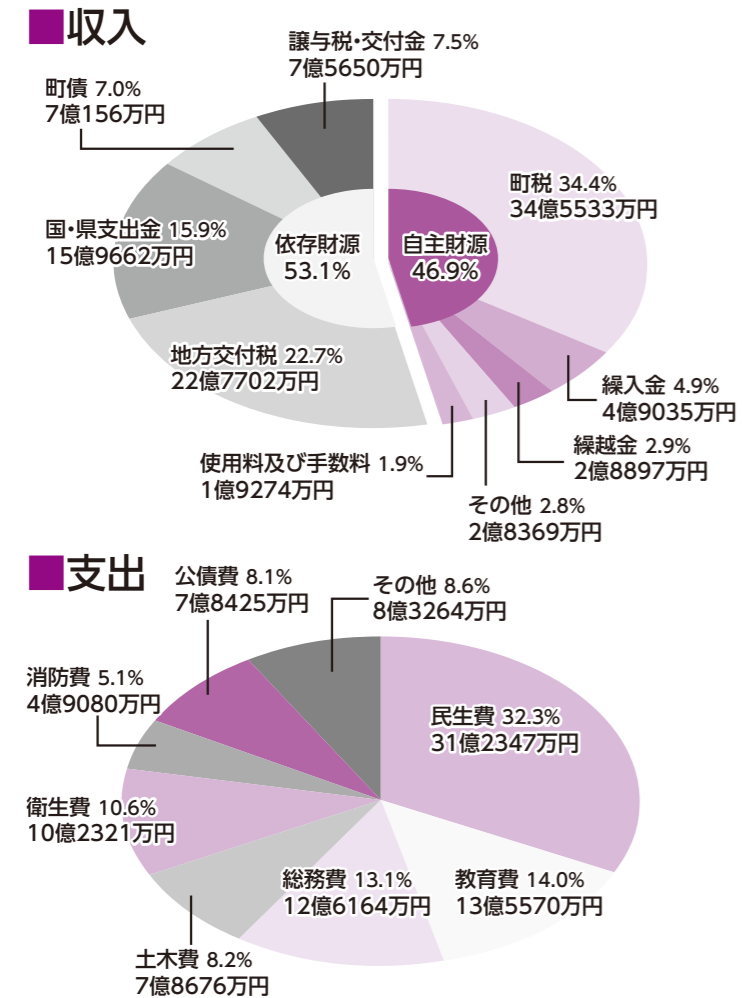
通次繰越 何らかの事情でその年度内に支出を終了することができない経費について、特に翌年度以降に通次（順次）繰り越して執行ができるもの。

平成30年度 各会計別決算状況

会計区分	収入	支出	収支差引残額
一般会計	100億4277万円	96億5847万円	3億8430万円
特別会計			
国民健康保険	34億7688万円	33億9431万円	8257万円
介護保険	21億7384万円	20億8166万円	9218万円
後期高齢	7億3740万円	7億2277万円	1463万円
農業共済	2106万円	1096万円	1010万円
奨学金	2166万円	1836万円	330万円
合計	164億7361万円	158億8653万円	5億8708万円

※各会計ごとの決算額を表示単位未満で端数処理をしているため実際の決算額と一致しない場合があります。

一般会計の内訳



主な質疑

特別会計

総務文教
常任委員会

農業共済

奨学金

◎ ヘリ防除の対策は。
 ▲ ヘリ防除は空中から散布するため、非常に範囲も広くなるから、希望により実施しており、30年度は11農会に対し8集落を対象に行った。共同散布は3集落で、各農会からの申請で薬剤散布を行った。

◎ 電気柵などの対策が行われているが、まだ被害被害はあるのか。
 ▲ 平成20年度から町単独事業で電気柵の助成事業を行い、多くの農業者が利用しているが、被害被害は完全に収まっていない。鹿・猪の捕獲頭数は非常に伸びているが、県北部から南下し、個体数が増えてきている可能性もある。今後も町・県・

国の施策などを活用して、対策に積極的に取り組んでいきたい。

◎ 奨学金を受けた人の卒業後の就職状況は把握しているか。また貸付ではなく給付する考えは。
 ▲ 新制度に改正後は、毎年現況届で勤務先を提出してもらい把握している。給付制度は国の制度もある。町で実施するとなれば、成績や所得要件で範囲を狭める必要性や、特別会計で運用している関係上、一般会計からの繰り入れが必要となるため、今のところ貸付制度の運用で進めている。

生活建設
常任委員会

国民健康保険

◎ 基金の残高が約10億

円近くあるが、国保に入っている6602人に還元するつもりはないか。
 ▲ この基金を被保険者のため、また、保険事業を進めながら有効に活用していく。

介護保険

◎ 基金をサービスとして還元する予定はあるか。
 ▲ 介護保険料を設定する時に1号被保険料の不足をこの財源を使って充当することにより保険料の調整を行っている。

◎ 在宅サービスにかかった10億412万1711円の根拠は。
 ▲ 決算書で事業ごとに分類されている介護保険給付費の支出状況の在宅サービスを合算したものの。

委員会の活動報告

総務文教

学校設置等に関する

条例の一部改正可決

12月10日、委員会を開会し、付託12議案を審査。主な質疑は次のとおり。
 ◎ 学校設置等に関する条例の一部改正について
 ◎ なぜ新設校を六瀬中学校ではなく中谷中学校にするのか。
 ▲ ①通学距離の関係から中谷中学校でなければ、特定地域選択制度を利用する生徒が限られる恐れがあること。②六瀬中学校では距離的に猪名川高校との連携は困難であること。③中谷中学校の方が規模が大きく、放課後の生涯学習活動や塾に通う場合、駅などの施設に近いことから保護者や生徒の負担が軽減されるため。

◎ 再編の進め方が早すぎるのではないか。
 ▲ 教育委員会として、



令和4年3月に再編される六瀬中学校

平成28年のあり方検討委員会から検討を始め、63回の協議の場を設け、アンケートの実施や教職員、保護者、地域住民を対象に53回の意見交換会、説明会を開催した。このような経過から早急な決定とは考えていない。「学校設置等に関する条例（その他10議案はいずれも全会一致で可決）」

例の一部改正については可否同数になり、委員長採決の結果、可決。「道の駅いながわ移転整備事業に関する住民投票条例の制定について」は可否同数になり、委員長採決の結果、否決。

生活建設

子育て支援センターに
電気錠設置



電気錠の設置で利用者の安全を確保する子育て支援センター

12月11日、委員会を開会し、付託3議案を審査。主な質疑は次のとおり。
令和元年度一般会計補正予算
◎ 子育て支援センターの備品購入費で電気錠を

設置することのだが、何か事象があったのか。
A 8月上旬に職員が気がつかないうちに中年男性が施設の中に入ってきた。所長が気がつき身分の確認をし対応したとい

う事象があった。利用者の安全を確保するため、電気錠の設置をする。

◎ 身体障がい児補装具交付事業費、補装具給付費の内、高額補装具の内容は。

A 座位保持装置が9件で320万円程度、車椅子が7件で160万円程度。

◎ 高齢者の外出支援について、今年度はタクシーや電車も利用できるようになったが、内容は。
A 11月末現在で「グラウンドパス」が33件、「タクシー券」が30件など。昨年度の免許返納者が100名程。その中で申請件数が29件あり、今年度の申請者を125件と予測し、増額補正した。
(その他2議案も審査。いずれも全会一致で可決)

いながわ創生対策特別委員会

産業拠点地区を現地視察

～造成工事の進捗状況を確認～

12月25日、委員会を開会。産業拠点地区プロジェクトおよび道の駅機能拡大プロジェクトの説明を受け、質疑を行った。産業拠点地区は現地を視察し、進捗状況を確認。造成工事は令和2年1月

未完了予定とのこと。
◎ 町に移管される道路が傷んだ場合の修繕は。
A 町が行うことになるが、建築工事中については事業者の責任で管理させるべく協議中。

名川町民」と書くべきでは。
A 選定委員会に報告させていただきたい。
◎ 道の駅から北野旧道に車が流れないか。また、県道の拡幅はあるのか。
A 北野橋にはポールを立てる提案をしている。県道拡幅は県と協議をしている。

道の駅いながわ機能拡大プロジェクトについて、用地取得のめどが付いたとの報告と、①事業実施方針②業務要求水準書(案)③今後のスケジュールの説明を受けた。
◎ 「地元雇用」は「猪

◎ 用地の売買契約はいづらうか。
A 基本協定締結の令和2年11月が最終と考えている。



産業拠点地区を現地視察

一般質問

第397回定例会

町の考えを問う

質問順	質問者氏名	質問事項
1	加藤 郁子	・新道の駅 有事の際の活用について ・デジタル教科書導入について
2	岡本 信司	・ふるさと納税の推進等について ・小中の児童・生徒通学費の半額補助について ・農地バンクについて
3	上林 辰巳	・「道の駅いながわ」移転整備事業について ・「請負工事」及び繰り越しについて
4	福井 澄栄	・転入者の固定資産税の免除を
5	丸山 純	・本町における歳入の内、地方交付税との関連性について
6	池上 哲男	・ごみの戸別収集あるいは当番制廃止の検討はどこまで進んだか ・教師の「1年単位の变形労働時間制」は導入しないように ・読解力を向上させる対策は

(詳細は8～11ページをご覧ください。)

Q 農地バンク法改正による町の役割は

A 農地管理の未来設計図の策定を支援



岡本 信司 議員

本町における耕作放棄地の状況と営農者の平均年齢、農地バンクの状況は、**地域振興部長** 耕作放棄地は管内農地面積の1・06%にあたる4・5ha、兵庫県の平均年齢は69・5歳。農地バンクは、笹尾地内ほか12・5haの農地が2法人3農家に集約されている。

農地バンク法が改正された。町としての対応方針や期待される役割は。

地域振興部長 「実質的な人・農地プラン」の策定に向け、アンケートを実施する。農地の管理意向などを地図化し、話し

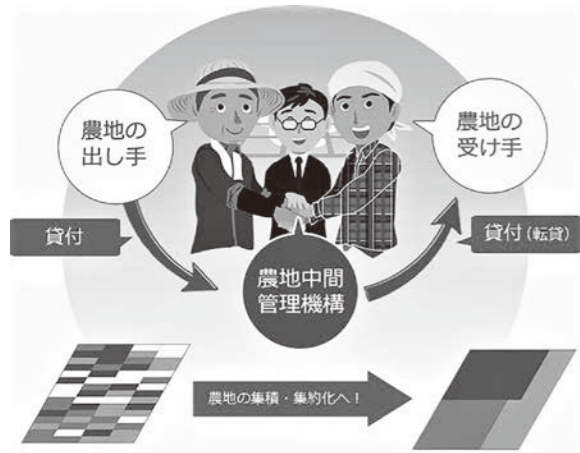
合いを通じて、集落合意による未来設計図の策定支援を行う。

受け手が見つからない場合、当該農地を誰が管理し、最終的にどう取り扱うのか。

地域振興部長 地元の意向によるが、農業振興地域に指定し、農地整備事業などを活用し、ほ場整備などのハード事業と担い手確保のソフト事業を併せた取り組みを行う。

【その他の質問】

- ・ふるさと納税の推進等について
- ・小中の児童・生徒通学費の半額助成について



効率的な農業経営に向け、農地の集積・集約化の推進 (兵庫みどり公社HPより引用)

Q 住民説明会開催の予定は

A 自治会からの要望により実施する



上林 辰巳 議員

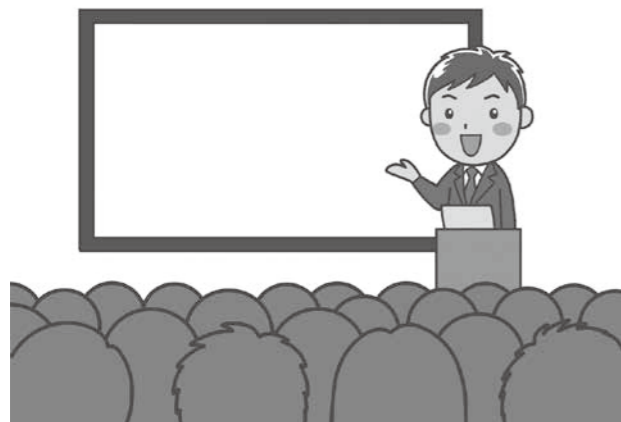
道の駅いながわ整備事業の住民説明会を開催する予定は、また、住民アンケートを実施することは、**副町長** 自治会からの要望があれば、住民説明会を実施する。この計画は平成27年以前から、議会においては平成27年から協議している。その他委託の経費の計上、用地購入費について債務負担行為として計上していることから、この事業についてアンケートは予定していない。

土地購入費5億6500万円の根拠は。

地域振興部長 全国の市町村の価格決定方法と同様に不動産鑑定士による鑑定評価を基に価格を決定している。鑑定評価の詳細な内容については、関係法令等の規定により、現在、用地交渉を進めている最中であること、また個人の財産に係る内容であることから、現段階において、価格の詳細について説明は差し控える。

【その他の質問】

- ・「請負工事」及び繰り越しについて



住民説明会

Q 有事の際 新道の駅温浴施設の開放は

A 一般開放を民間事業者に求める



加藤 郁子 議員

新しい道の駅にできる温泉を、有事の際には町住民に開放するという考えはあるか。

地域振興部長 新施設である温浴施設の一般開放について、民間事業者に示す業務要求水準で求める予定。

避難生活になった場合、車の中で生活をする人もいるが、温浴施設以外に子育て支援センターや駐車場の開放は可能か。

地域振興部長 大規模災害における子どもの遊び場として活用する。また駐車場を車での避難者のために開放するなど、様々な可能性について今後、施設管理者など前向きに検討する。



有事の際の開放が期待される新道の駅

デジタル教科書利用に対して、町の考えは。

教育部長 先行事例や実証研究から、効果的な活用方法やその効果・影響を見極めていきたい。

デジタル教科書の導入によって、学習以外にも通学カバンの軽量化など、生徒の負担を軽減することができると思うが。

教育部長 デジタル教科書は、紙の教科書との併用が原則なので、紙の教科書やノートが全くなくなるものではないが、多少は児童生徒の負担軽減になると思う。



池上 哲男 議員

Q ごみ当番廃止に向けた検討内容は

A 住民や議会と一緒に考える場を設けたい



ごみ当番廃止に一步前進か?

ごみ収集課題はどこでも聞かれる。これまでの検討内容や展望は。町長 来年度から、住民や議会と一緒に考えていく場を設けられたらと考えている。教員に1年単位の変形労働時間制が法制化された。繁忙期には1日10時間労働を認め、その分は長期休暇時に埋め合わせればよいというものだが、夏休みは暇という学校はなく、休み溜めができるものでもない。県単位で決定されるのだが、各校ごとの対応が問われる。町としての考えは。

教育部長 各学校の実情を踏まえ、慎重に導入を図る。OECDのPIISA(読解力調査)で日本の順位は大きく下がり、世界で15位となった。読解力は単に言葉を理解することではなく、活用・応用する能力。この能力はすべての基本となる。この力をつけるには読書の強化が必要と思う。教育部長 読む力を高めること、考えを述べる機会を充実させる必要がある。と考える。

正副委員長研修会に参加

11月28日、県民会館で県町議会議長会主催の「正副委員長研修会」が開催され、常任委員会、議会運営委員会、特別委員会の各正副委員長と議長が出席した。

地方議会総合研究所の廣瀬和彦氏から、「町村議会における委員会運営のあり方」について研修を受けた。

会議録の閲覧

本会議・委員会の会議録は、議会事務局・図書館・日生連絡所・六瀬総合センターで閲覧できます。また、ホームページからも本会議、各常任委員会の会議録をご覧いただけます。

※いずれも午前10時から。議事の都合により変更することがあります。

みなさんも議会・委員会を傍聴しませんか
町議会では、身近な問題などを議論しています。まちづくりを一緒に考えてみませんか。傍聴の手続きは簡単です。当日、議会事務局で受付簿に住所・氏名を記入していただくだけで傍聴できます。(議場20人、委員会室10人まで)

みなさんも議会・委員会を傍聴しませんか

お知らせ

3月定例会

(本会議の日程)

- 第1日 2月25日(火)
- 第2日 3月3日(火)
- 第3日 3月5日(木)
- 第4日 3月26日(木)

(常任委員会の日程)

- 総務文教常任委員会
- 2月26日(水)
- 3月6日(金)
- 3月9日(月)
- 3月11日(水)
- 生活建設常任委員会
- 2月27日(木)
- 3月12日(木)
- 3月13日(金)
- 3月16日(月)



福井 澄栄 議員

Q 50歳までの転入者の固定資産税免除を

A 住宅取得は一定の優遇制度を受けている



転入者の増加を促進する思い切った施策を

50歳までの転入者の固定資産税を免除する思い切った施策を打ち出してはどうか。このままでは町の若い世代の転出に歯止めがかからない。空き家のまま置いておいても固定資産税しか入ってこない。空き家を買いたい人が増えてきたら朗報と思うが、今町は病院も遠くなり、交通事情で通勤が大変で、はたして町に転入してきてくれるか心配だが。

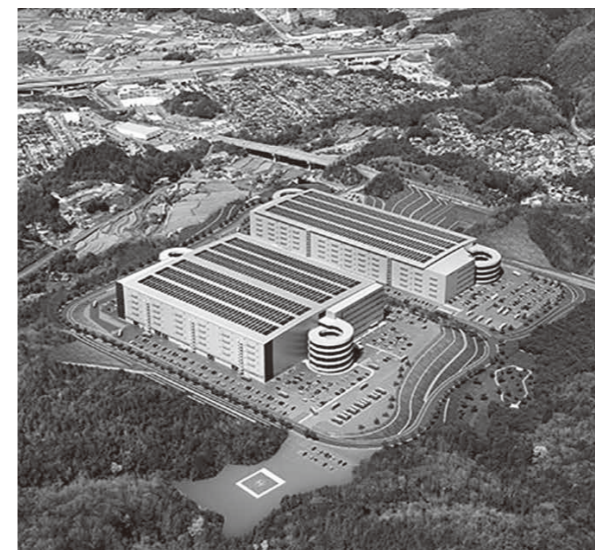
企画財政課長 地方税法第6条第1項に課税免除が規定されており、転入者の課税免除を行っている自治体はあるが、地方団体が任意で課税を免除することから、地方交付税の算出時には課税免除による減収は考慮されないことになっている。住宅取得は住宅税制で一定の優遇制度を受けており、他の納税者との間で不公平感を生むことも懸念される。今後子育て世代を中心に選ばれらるまちづくりを進めていく。

Q プロロジスの固定資産税額は

A 5億円程度と推定



丸山 純 議員



年間5億円の税収が期待されるプロロジス猪名川プロジェクト

プロロジス猪名川プロジェクトが完成した際には1500人の人々がこの施設で働くようになるはず。この件で町の固定資産税収入は年間5億円程度との説明だが。

まちづくり部長 固定資産税や法人住民税などの町税収入が5億円増加すると仮定した場合、普通交付税としては3億7500万円減少する。最終的な町全体の収入額としては、1億2500万円の増収となる。歳入に占める町税収入の割合を高めることで、国・県などからの依存財源に頼ることなく、町自らが自主財源として収入確保できることは、財政基盤の強化とともに、多様な住民サービスへの財政支出が可能となる。

新春を迎え

ごあいさつを

申しあげます

猪名川町議会

議長

下坊 辰雄

副議長

中島 孝雄

議員

南井 初男

福井 澄男

池上 哲

丸山 純

宮東 一

加藤 郁子

山本 京子

阪本 ひろ子

岡本 信子

福井 和夫

上林 辰巳

古東 明子

井戸 真樹

中西 典章

(議席番号順)

猪名川町のきれいな星空をみなさんに伝えたい

猪名川天文台運営委員会

会長 畑田 尚起



きます。

この環境を生かして設立された猪名川天文台は今年19年目を迎えます。

天文台運営委員会は、これまで天文台でのイベントの企画・運営に重点を置いてきましたが、最近では天文台以外の活動にも取り組んでいます。

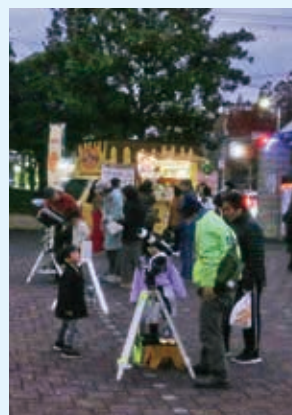
まだまだ町内には猪名川天文台に行ったことがないという方がたくさんおられます。車の運転ができない方や夜の山道の運転に自信の無い方にも星空を楽しんでいただけるように、町内の商業施設などで

とがないという方がたくさんおられます。

移動可能な小型望遠鏡での観望となりますが、猪名川町のきれいな星空と宇宙の不思議を気軽に体験していただきたいと思ひます。

移動可能な小型望遠鏡での観望となりますが、猪名川町のきれいな星空と宇宙の不思議を気軽に体験していただきたいと思ひます。

観望会などを開催しています。



星空観望会

まちの声

連載

猪名川天文台のある大野山周辺は街明かりの影響があまり無いので、月の無い夜は満天の星空を眺めることができ、条件がそろえば天の川も見ることが

でき、条件がそろえば天の川も見ることが



除夜の鐘 (島地区 松山寺)



猪名川保育園幼年消防クラブ (出初式)

町内のイベント映像



316名が新成人!! (イナホール)